



藤田 まこと

No 46号 議会だより

二〇二二年四月号

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央1-22-5
青森無所属の会控室
TEL 017-734-5857
FAX 017-734-1159

令和4年第1回青森市議会定例会全議案可決



令和4年第1回定例会は予算議会とも言われ、令和4年度の当初予算(案)が提案され審議されました。一般質問では豪雪を反映し、徐排雪について多くの議員が市の取り組みについて質問していました。

特に、除排雪については、区域によって除排雪の良し悪しや、工区(生活路線)を請け負っている除排雪業者の能力があるのか、除雪開始、除雪中、除雪完了のホームページ上での表記についてが主な質疑内容でした。

今回は、①除排雪について、②保育・介護職場の職員、看護師の待遇改善についてを予算委員会にて主に質問しました。特に緊急時の市民の声に答えられるのは、市の直轄除雪部隊で、民間業者が対応出来ない区域を補助する体制を作らなければ問題の解決にはつながらない主張をしました。

その内容については次ページ以降に掲載しています。

ここで、川柳を

おおゆき しちよう しじ ききふどう
大雪で 市長の指示も 機器不動

その他、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策も多い質問課題でしたが、青森市プレミアム付商品券事業、事業継続支援緊急対策事業(家賃・固定資産税補助)等経済対策、感染症対策等、詳細は広報「あおもり」をご覧ください。

引き続き皆様のご理解と、ご支援、ご協力をお願い申し上げます

副議長 藤田 まこと

予算委員会での質疑

1. 保育士の処遇改善対策事業について



2億4528万円

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、これまでも、他産業と保育・介護職場の職員、コロナで奮闘された看護師等の処遇改善が叫ばれてきたが、目に見えて待遇が改善されませんでした。今回は目に見える形で「今年の2月から9月まで」の処遇改善費が計上されました。



改善内容：看護師(4千円、1%程度、事業主負担660円+)、
介護、障害福祉職員、会計年度職員(9千円、3%程度)を確保

民間の保育士は、自治体から児童措置費での補助があることから、自治体が主導して待遇改善がなされます。

しかし、民間の介護職場や看護師は事業主が手続きをしなければならない。

そこで、介護、障害福祉職員等の該当する事業者に、待遇改善を行うよう、指導助言を行うよう考えを聞いた。

相談会を開催

令和4年4月19日(火) 午前10時から12時まで
沖館市民センター 2階 小会議室

青森市の事業の「家賃・固定資産税補助」や、国が行っている「事業復活支援金」について、一人でも多くの方に利用していただくために、申請方法等の相談会を開催します。

予算委員会での質疑及び答弁の概要については、次ページ以降に掲載

質問①：国から処遇改善のための交付金等が交付されると思うが、市職員の看護師や放課後児童支援員への対応はどうか

答弁：保育所等の処遇改善の確認については、国の実施要綱に基づき、保育所等から職員ごとの改善見込額を記載した賃金改善計画書を提出していただき、基本給又は決まって毎月支払われる手当の引上げが行われているか、特定の職員に合理的な理由なく偏って賃金改善を行うといった恣意的な配分がないかなど、あらかじめ内容を確認することとしている。

また、事業の完了後には、保育所等から賃金改善実績報告書のほか、職員ごとの賃金台帳又は給与明細の写しを提出いただき、実際の賃金改善額を確認する事としている。

質問②：介護事業者への制度周知はどのように行っているのか？



答弁：今般の国の処遇改善に係る制度の周知に当たっては、介護サービス事業者、障害福祉サービス等事業者、保育所等に対し、それぞれの担当課から電子メール等により、適時適切に御案内するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く職員の収入の引上げを図るという趣旨に鑑み、各事業者等において適切に実施していただくよう、協力を求めたところである。

2. 除排雪について

令和4年度予算 31億8300万6千円

除排雪対策事業費

令和3年度：31億8377万5千円→補正後：59億1639万6千円

昨年度の除排雪予算は、補正によりほぼ倍増したのに、地域によって除排雪の質・回数が異なることから、毎年降る雪対策を工区（生活路線優先）中心にすべきとの考えと、市民から緊急時要望に応える体制について、来年に向けての検討材料にしてもらうため、除排雪と、雪に関する市民意見の反映についても聞いた



質問①：昨年度や今年度のような災害級の降雪に対応できるように、市の直轄除雪部隊を設置すべきだと考えるが、市の考えを示せ。

答弁①：昨年12月28日に豪雪対策本部を豪雪災害対策本部にいち早く切り替え、降雪から市民の暮らしを守るため、主な項目3つを中心に体制を強化した。

3つの体制強化策

①：除排雪の強化として、道路交通を確保するため、幹線・補助幹線・工区や小・中学校通学路線などの除排雪を強化し、特に今冬からの取組では、除排雪事業者間における連携による除排雪を延べ24回、今年度、3台から7台に増台したロータリ除雪車による除雪作業支援を延べ159回実施しました。

②：パトロール班の強化として、除排雪パトロール班を通常の12班体制から、豪雪対策本部では14班体制とし、豪雪災害対策本部においては18班体制として、様々な要望等への対応を強化しました。

③：青森市職員によるスノーレスキュー隊を設置し、高齢者世帯を対象とした屋根の雪下ろしや通学路歩道の除雪作業を延べ67回実施しました。

市直営による除排雪は、平成15年度に本市の直営を廃止し、道路除雪に対応する規模の職員を有していないことから、本市の直営による除排雪作業の実施は困難である。

※残念ながら、市職員による除雪機動部隊の強化については、前進がありませんが、監視を強化し除排雪の地域間格差の解消に努めてまいります。

質問②：今年度4台追加配備し、計7台となったロータリー除雪車の貸出期間と、稼働貸出し回数及び稼働時間を示せ。



答弁②： 令和4年2月28日時点（期間約60日）

ロータリー除雪車7台の稼働実績	貸与回数	延べ稼働時間	1日稼働時間
事業者への貸与による除雪作業支援	159回	704時間	1時間40分/1台
市職員のスノーレスキューによる除雪作業	21回	(100時間/台)	

※重機があっても、効率的に運用されず、宝の持ち腐れ状態に感じたので、青森市職員に必要な免許を取らせて、市民の要望に応える体制を作るよう要望しました。

質問③：市が実施している歩道除雪について、市では指令状況や実施状況をどのように把握しているのか。

答弁③： 歩道除雪については、職員によるパトロールに加え、町会・町内会関係者、地域住民、学校関係者等からの情報提供を参考に、積雪状況を確認し、歩行に支障があると判断した場合に、委託事業者に指令を出すこととしております。

おおゆき くじょう こえ ぶ け
大雪に 苦情の声 吹き消され

また、今冬におきましては、通学路の点検を昨冬の2倍となる258か所について実施し、通学路の確保に努めたところであり、さらに、豪雪災害対策本部設置に伴い、市職員によるスノーレスキュー隊を設置し、高齢者世帯を対象とした屋根の雪下ろしや通学路歩道の除雪作業を実施しております。

歩道除雪の作業指令につきましては、除雪事業者に対し、歩道除雪実施箇所の図面を添付した作業指示書により、指令を発出しており、実施状況につきましては、作業終了後のパトロールと事業者から提出される作業日報で確認をしております。

※今冬は比較的歩道の除雪がされていたと感じていますが、管理する歩道の除雪実施状況表を作成し、歩道の除雪を忘れ市民が歩道を迂回する危険を無くすよう要望しました。

質問④：除排雪に関する市民からのアイデアを受け付けるような体制はあるのか。

答弁④： 本市では、今後の雪対策の方向性を示す青森市雪対策基本計画を策定する際には、わたしの意見提案制度を実施し、市民からの意見を広く募集しております。

また、効果的・効率的な除排雪作業を実施するための基本方針である除排雪事業実施計画を策定する際には、毎年度、青森市町会連合会や東青除排雪協会との意見交換の内容も踏まえ、策定をしております。来年度の除排雪事業実施計画の策定に当たっても、関係機関、団体などの意見を踏まえ、策定してまいります。

要望①：青森市への転入就農者の冬期間の取扱いについて

趣旨：緊急時の除排雪援助体制のための人員の確保と転入者促進のため

要望②：除雪による、マンホール損壊対策について

趣旨：下水のマンホールは古い工事箇所はボルト締めしていない箇所があり、除排雪業者による損壊に注意するよう求めた。



要望③：側溝に融雪利用のための仕切り板を設置

趣旨：今冬、側溝に仕切り板を取付、側溝内に水を満たし融雪が早くなるか実験した結果、融雪の有効性が見られた事から、少しでも寄せ雪を少なくするため、実践するよう求めた。

3. 道路整備事業費について

1億7700万円

当初予算を見ると、昨年度と同じ額が確保されましたが、工事単価の上昇が想定される事から、実質マイナスシーリングと同じくになっているのではないかと。

また、除排雪業者の夏の仕事を確保するためにも、工事量を確保することが求められている事から、予算の執行状況、工事の実績等について聞いた。

	2019	2020	2021
算執行率	99.6%	99.5%	99.9%
側溝整備	2,900m	2,800m	2,600m
労務単価	25,600円	25,900円	26,900円
前年比		+300円	+1,000円

各年度約1億7千万円
整備費 約6万円/m
昨年約45m整備減少



要望：毎年度の側溝整備の工事区間を確保できる予算を計上するよう要望

4. 小中学校の施設修繕費について

小学校：1億8681万4千円 中学校：4660万円

雪害により、小中学校の室外機の損傷が見られる事から、エアコンの修繕に年度内の予算が使われて、それでなくても、少ないと言われている小中学校の施設修繕費が足りなくなる恐れがある事から、施設修繕費の確保のため、聞いた。

質問①：小中学校において、エアコンの室外機の被害状況は把握しているのか、来年度の小中学校の施設修繕費に影響はないのか

質問②：小中学校において、エアコンの室外機の被害状況は把握しているのか、来年度の小中学校の施設修繕費に影響はないのか

答弁要約：本市小・中学校のエアコン室外機の被害については、今冬の豪雪により校舎屋上部分に発生した雪庇が例年より大きくなっており、この雪庇の落下・衝突や室外機付近に堆積した雪の側圧により破損が発生、3月7日現在で、小学校は、**沖館小学校が2基**、中学校は、**甲田中学校が4基**、**浦町中学校が3基**、小・中学校合計で9基となっている。

小・中学校のエアコン室外機の修繕費については、先ほど答弁した学校以外についても、**雪解け後**に各学校を調査していく。修理費は1基当たり約33万円と見込んでいる。

また、破損したエアコン室外機の修繕時期については、**稼働時期前の5月末**までに終える。

なお、今後は、今冬の被害状況を踏まえ、雪害対策を検討していく。

現在、副議長として、新型コロナウイルス感染症対策のため、議長が不測の事態により公務ができない場合に備えて、青森市民の生活のための議案審査に支障がないよう、対外活動等諸活動を自粛しなければならない状況にあります。

幸いな事に、地域課題の解消や、相談体制には支障はないので、ご遠慮なく地域課題について、ご連絡を頂ければ幸いです。



☆ご意見・ご要望をお待ちしています

無所属控室 藤田 まこと
TEL:017-734-5857